

業務概要

業務名：令和7年度那覇港浦添ふ頭地区マリーナ・緑地基本設計業務委託

1 業務目的

那覇港浦添ふ頭地区に計画されているマリーナ・緑地は、浦添ふ頭地区交流賑わい空間の主要施設として令和5年3月の那覇港港湾計画(改訂)において位置づけられたところである。

本業務は、那覇港浦添ふ頭地区交流賑わい空間事業の整備実施に向けて、過年度業務成果等を踏まえマリーナ・緑地等施設の基本設計業務を行うものである。

2 履行期間

契約日の翌日から令和8年3月17日

3 履行場所

那覇港浦添ふ頭地区

4 業務対象

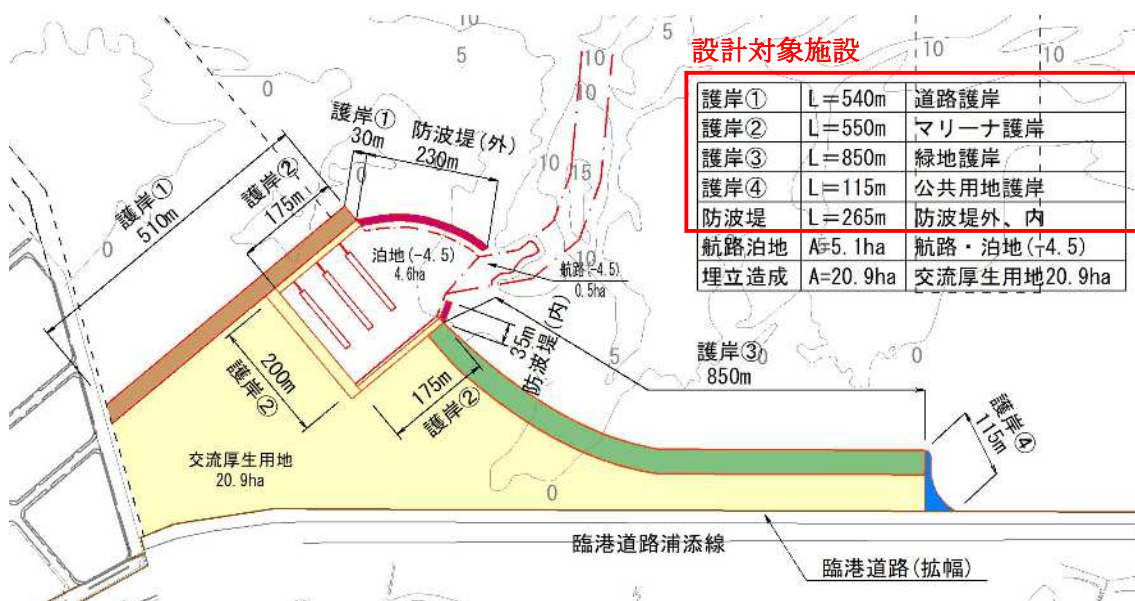
下記のとおりとする。なお、土質条件は既往資料を用いる。

・護岸断面設計

護岸①～④の標準断面を設定する。

・防波堤断面設計

防波堤外、内の標準断面を設定する。



5 業務内容

(1)設計計画

本業務を実施するにあたり、業務目的及び内容を把握し、業務計画を作成する。

(2)護岸設計

1)性能規定の設定

今回の検討断面について要求性能に照らし、最適な性能規定及び性能照査手法を選定するための資料等を収集し整理・提案する。

2)照査用震度算定

今回の検討断面について一次元の応答解析によりレベル1地震動の照査用震度を算出する。レベル1地震動については、既知の値（国土技術政策総合研究所設定値など）を用いることができるものとする。

3)比較構造諸元の検討

対象施設の構造形式については、比較的地盤が良いことから重力式（地盤改良は含まない）とし、比較検討するための構造諸元を設定し、標準断面図、平面図等必要な図面を作成する。

護岸① 波高に応じて2工区×（2～3ケース）＝5ケース

（単塊、傾斜、消波被覆（1工区のみ）を想定、過年度で1ケースは実施済）

護岸② 1工区×2ケース（直立消波ブロック、直立方塊を想定）＝2ケース

（過年度で1ケースは実施済）

護岸③ 波高に応じて2工区×（2～3ケース）＝5ケース

（傾斜、階段、単塊（1工区のみ）を想定、過年度で1ケースは実施済）

護岸④ 1工区×2ケース（傾斜、単塊を想定）＝2ケース

（過年度で1ケース実施済）

4)安定性の照査

護岸①～④の設定した比較構造形式について、性能規定等に基づき永続状態および変動状態の照査を行う。なお、条件で用いる土質定数については、過年度業務成果等を参考に設定する。

5)構造諸元の決定

護岸①～④の安定性を照査した構造形式で設定された、重力式の構造諸元に対して、概算数量及び概算工費の算定、各種要件（安定性、経済性、施工性ほか）の検討を踏まえて総合的な比較・検討を行い、最適な構造断面を決定する。

6)図面作成

決定した構造諸元について、標準断面図、平面図およびその他の必要な図面を作成する。

7)概算事業費の算出

埋立造成の外郭施設となる護岸①～④の概算工事費を算出する。

(3)防波堤設計

1)性能規定の設定

今回の検討断面について要求性能に照らし、最適な性能規定及び性能照査手法を選定するための資料等を収集し整理・提案する。

2)比較構造諸元の検討

対象施設の構造形式については、比較的地盤が良いことから重力式（地盤改良は含まない）とし、比較検討するための構造諸元を設定し、標準断面図、平面図等必要な図面を作成する。

防波外 1 工区×2 ケース=2 ケース（傾斜、単塊を想定、過年度で 1 ケースは実施済）

防波内 1 工区×2 ケース=2 ケース（傾斜、単塊を想定、過年度で 1 ケースは実施済）

3)安定性の照査

設定した比較構造形式について、性能規定等に基づき永続状態および変動状態の照査を行う。なお、条件で用いる土質定数については、過年度業務成果等を参考に設定する。

4)構造諸元の決定

安定性を照査した構造形式で設定された、重力式の構造諸元に対して、概算数量及び概算工費の算定、各種要件（安定性、経済性、施工性ほか）の検討を踏まえて総合的な比較・検討を行い、最適な構造断面を決定する。

5)図面作成

決定した構造諸元について、標準断面図、平面図およびその他必要な図面を作成する

6)概算事業費の算出

防波堤の概算工事費を算出する。

(4)施工方法の検討

断面諸元に基づき、施工方法（陸上、海上）や仮設工の有無、施工順序について検討し整理する。その際、断面変化点や工区割りの整理、関連事業等の情報（他の港湾施設等の整備状況など）を考慮の上検討する。また、概算事業費を考慮した上で年次計画を整理する。

(5)報告書作成

上記内容を報告書としてとりまとめる。

(6)打合せ協議

業務着手時及び最終報告時のほか、業務の区切りにおいて行い必要な資料は受注者において準備し、その内容はその都度記録し発注者に提出する。

(7)照査

業務の全てについて照査を行う。

成果品

- ・電子媒体（CD-R 若しくは DVD-R）2 部
- ・業務報告書（A4 黒表紙金文字、図面等は縮小 A3 版折込を標準）2 部